

大学院特別講義ノート（2008年6月4日）

「精神障害患者の歯科治療の考え方」

国立精神・神経センター病院

中村広一 歯科医長

I 統合失調症とはどういう病気か

1. 統合失調症の特徴

青年期、7-8人/1000人、異常体験、自分の殻に閉じこもる、再燃と緩解

2. 原因

遺伝、ストレス

ドーパミン伝達過剰

3. 症状

思考、感情、意欲、疎通性の障害、自閉、人格荒廃

4. 最近の症状区分

陽性症状—幻覚

陰性症状—感情鈍麻 引きこもり、思考のマイナス化

抑うつ

認知機能障害—注意障害 実行障害

5. DSM-IV-TRに基づく診断

6. 最近の統合失調症患者の精神科治療

地域社会での生活

外来通院

長期にわたる薬物療法（非定型抗精神病薬が中心）

7. 治癒率

転帰良好—20数%

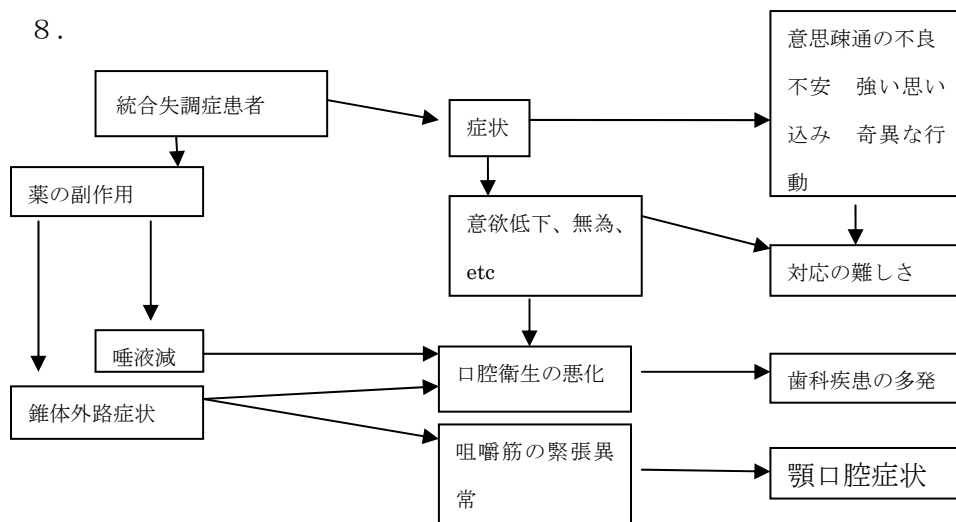
社会適応良好—約半数

（上島 国利）

地域で暮らす統合失調症の人たちが一般歯科を受診することが日常化

⇒統合失調症の人たちへの理解が歯科医に求められる

8.



## II 統合失調症の歯科的問題、対応上の注意

歯科診療上、多少の違和感があってもほとんどの統合失調症患者との対応は問題ない。しかし、対応困難なケースもある。

### ◎対応上の問題

⇒意思疎通難しい・自閉的・対話成り立たない・無愛想・社会的礼儀の欠落

不安・猜疑心が強い・被害者意識を持ちやすい・思い込みが強い

不合理的な考えの訂正困難

「誤った関連付けを伴う不合理的な訴え」に固執

否定的な対応⇒「自己感覚」の否定

⇒「自己そのものの」の否定⇒患者、医師関係の破綻

肯定的な対応⇒誤った関連付けの肯定⇒泥沼化の危険

自覚症状をクオリアとして捉える

脳↑の神経細胞から生まれる主観的な体験の中に感じられる様々な質感、心的状態

「うまく噛めない」＋「当科での増歯が原因だ」

(身体感覚)

(体験の記憶、判断)

自覚症状はクオリアに他ならない→不合理でも否定できない。他者は否定できない。

### ○対応

1 訴えを傾聴し、クオリアとして肯定的に受け止める

↓

2 十分な問診・診察

↓

3 処置と症状の関連性が見いだせないことを明言する

↓

4 歯科的知識・技術だけでは解決できないと伝える

↓

5 問題解決への協力を患者に要請

↓

6 治療者－患者関係の構築

・統合失調症患者は、一方の見方や考え方に固執してその訂正が困難である。

・精査・説明を繰り返して見方や考え方の変化を促す。

→クオリアである自覚症状の変化・消失

→誤った関連付けと不合理な訴えの訂正・修正・切り離し

#### ○対応上の留意点

十分な対話を心がける・訴えをよく聞く・わかりやすい説明・納得下の治療に徹する  
不安を抱かさない・初回は診察・検査・投薬のみ・非可逆的治療を急がない・ゆっくり  
した治療・自傷他害の危険性や迷惑行為に対して警察への連絡をためらわない

- ・多くが痛みを主訴として歯科を受診。歯科治療に伴う痛みを極度に恐れる
- ・痛み刺激に正常に反応する。→治療には十分な除痛が必要
- ・統合失調症患者は痛み感覚自体は正常であるが、認知が健常者と異なる

#### ・抗精神病薬とエピネフリンの併用

⇒ $\alpha$ 作用の遮断により $\beta$ 作用が優位となり血圧低下の危険があるため、能書では禁忌とされる。

抗精神病薬の副作用・・・唾液減少 口腔乾燥

#### ・(定型) 抗精神病薬

抗幻覚・妄想作用 ⇒ハロペリドール、フェルナジン、スピペロン、チミペロン

鎮静作用 ⇒クロールプロマジン、レボメプロマジン

精神賦治 ⇒クロールプロマジン

脳内ドーパミン受容体遮断作用

#### ・非定型抗精神病薬

セロトニン・ドーパミン拮抗薬・・・第二世代

リスペリドン (リスパダール)、オランザピン (ジプレキサ)、クエチアピン (セロクエル)、ペロスピロン (ルーラン)、クロザピン (治験中)

#### ・神経終末からのドーパミン放出安定化

アリピプラゾール (エビリファイ)・・・第三世代

#### 抗精神病薬の副作用

フェノチアジン系→自律神経系

唾液分泌抑制・頻脈

フェノチアジン系・ブチフェノロン系→錐体外路症状

アカシジア (うろうろ、若い人によく見られる)

ジストニア (顎関節脱臼・開咬)

パーキンソニスム

### ジスキネジア（口をもぐもぐ）

顎関節痛、顎関節脱臼、開咬、不正咬合、咬合違和感、歯痛、開口障害、はぎしり、歯周疾患、義歯関連不快症状など多様な症状

#### ○まとめ

患者との対話を心がける。

“納得”に基づく歯科治療に徹する。

⇒患者の精神障害の有無や種類に左右されることのない対応につながる。